

1 市の概要（H30年度）

人口	120,132人
保護率	0.6%

2 支援状況調査（H30年度）

新規相談受付件数人口10万人当 (件) 一月当たり	9.5
プラン作成件数人口10万人当 (件) 一月当たり	4.9
就労支援対象者数人口10万人当 (件) 一月当たり	2.2
就労・増収率 (%)	53.1

3 実施方法について

実施方法	直営 + 委託（単年度・随意契約）
事業費	2,336千円（平成30年度）
理由 (委託)	○学習支援を行う指導員の派遣が必要であるため、教室の管理運営については、教職員のOBや塾講師経験者等が多数登録されているシルバー人材センターに委託。
事業概要	○対象者 生活困窮世帯の小学校4～6年生、中学1～3年生 ※就学援助費を受給している世帯、児童扶養手当を受給しているひとり親世帯、生活保護受給世帯など。 ○開催頻度：毎週1回 午後5時～午後7時 ○開催場所：市内3地区の公共施設で実施 ○支援スタッフ：指導員1名と学生ボランティア ○概要 指導員と学生ボランティアにより学校の勉強の復習、宿題の習慣づけなど、基礎学力や学習意欲を向上するための支援を行う。また、指導員は、教室の運営管理、報告、連絡調整等の他、学生ボランティアへの指導を行う。 学生ボランティアは、市が広報等で募集。
その他	○参加者は、広報紙での掲載のほか、教育委員会と連携し、校長会で事業の説明を行い募集。対象年代がいる生活保護受給者、相談者にも参加を呼びかけ。

4 事業実績（H30年度）

実利用者数	実利用者数	
	うち小学生	うち中学生
	22人	14人

※開催会場は3か所

- 生駒市は、南北に細長い地形であるため、北地区・中地区・南地区の3地区で開催。
- 事業開始当初（平成28年5月）は中地区のみの開催であったが、平成28年8月には北地区、9月には南地区でも順次開催。

5 事業実施のポイント ～学生ボランティアがマンツーマンで対応～

学生ボランティアとの協働による開催

- 学生ボランティアを募集し、学習支援教室の支援体制を確保しつつ、市民との協働により事業を運営。

子どもたちとのマンツーマン対応

- 経済的困窮だけでなく、様々な課題を抱える子ども達に対応するため、学生ボランティアにより、ほぼマンツーマンで対応。
- 子ども達と学生ボランティアとの良好な関係ができ、継続して参加することにつながっている。子どもの居場所としての役割も発揮。



6 取り組んで良かったこと

- 学生ボランティア達と楽しく学習。
- 子ども個々のペースに合わせ、学習意欲が向上。